

小学校教科用図書調査研究資料

音 楽

教 育 出 版
教 育 芸 術 社

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：音楽)

発行者名 採択基準	教育出版（音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 音楽を形づくっている要素を、分かり易い色やデザインを用いて明示し、自ら主体的に取り組めるよう題材が構成されている。・ 発達段階に応じて友と関わりながら、自らの体験をもとに創作を工夫できるよう構成されている・ 多様な教材や活動が配置され、教科書を通して新しいものに対する興味や関心を引き出すよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 学年に応じて系統的な発達段階を考えながら、めあてにそって学んでいけるように題材が構成されている。(2) 身の回りにある様々な音に視点を当てたり、段階を追った多彩な創作活動を組み合わせたりして、友だちと協働しながら音楽作りを自分たちで展開できるよう工夫されている。(3) 「まなびナビ」という学び方のヒントが示されており、児童が見通しを持って主体的に学習を深めていくことができるよう配慮されている。(4) 様々な時代や曲趣の教材など多角的に選定された教材により、多様な演奏の表現方法や表現の良さに触れ、豊かな音楽活動が展開できるよう工夫されている。(5) 特別支援の観点も考慮し、児童が見やすく表現を思考できるような手助けとなる挿絵、見出し、写真、シートが取り入れられ、個人差を問わずわかりやすいものになるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 6年間を通した領域分野ごとに系統性に基づいて教材が配置され、発達段階に応じて学びが定着するように配慮されている。(2) カエルマーク、まなびリンク、まなびナビの表示により関連教材を示したり自ら調べたりすることができ、学習を進展させながら基礎的な力が身につくように工夫されている。(3) 「音楽のもと」に記入しながら音楽を構成する要素を考え、「学び合う音楽」で友と協働できる具体的なやり方を示すことで、主体的・対話的な音楽活動ができるように工夫されている。(4) 全学年で、一つの題材の中で児童の生活や心情に即した教材が複数用意され、個々の興味関心に沿って学習し、共有できるよう工夫されている。(5) 歌詞に合わせた情景が浮かぶ見開きの写真や、学習内容に合わせた透明シートにより、題材のねらいや共通事項が示されたり、記入して課題を意識できたりするよう、視覚的に工夫されている。(6) 各学年の巻末に、発達段階に合わせたまとめが示されており、見開きのページをみれば、すぐにどの要素をどの観点で評価するかが分かり、振り返りがしやすいよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 学びやすい題材配列や構成要素の表示、感性に訴えた美しい画像など、豊かな情操を培い学びが深まるよう工夫されている。・ 子ども達の体験を多角的に行える教材が選定され、段階的に友と協働しながら学習を進めていけるよう工夫されている。

(種目：音楽)

発行者名 採択基準	教育芸術社 (小学生の音楽)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ 音楽を形づくっている要素が明記され、それらに着目しながら音楽表現を工夫したり鑑賞したりできるように構成されている。・ 児童の発達段階を考慮した系統的な題材構成がなされ、既習事項をもとに積み重ねや繰り返し学習ができるよう工夫されている。・ 様々な楽曲や音楽活動をバランスよく配置し、思考の流れに沿い友と協働して主体的・対話的に学べるよう構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 児童の発達段階に応じた教材や学習内容が系統的に配列され、同じ要素を発展的に繰り返し学習できるよう配慮されている。(2) リズム遊びや友と協力して音楽づくりをすることのできる教材が掲載され、音楽の楽しさを感じながら協働的な学習を進められるよう工夫されている。(3) 学習のねらいの達成に向け、学習の手順や活動の例、児童の発言の例が吹き出しで示され、見通しを持って取り組めたり思いや意図をもって主体的に取り組めたりするよう配慮されている。(4) 鑑賞では、演奏している楽器とともに、比較鑑賞できる楽曲や楽器、演奏者のコラムがイラストや写真、譜例等で掲載され、音楽への思いや楽曲のよさを感じ取れるよう工夫されている。(5) 情景や心情が思い浮かぶようなカラーの挿絵や写真を数多く掲載するとともに、楽譜の部分はバックを白地にする、文字の大きさを発達段階に合わせるなど、視覚的に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none">(1) 相互に関連性のある教材を配列し、積み重ねや繰り返しの学習により、基礎的な内容が無理なく身に付くよう工夫されている。(2) 学んだことを関連付けたり活用したりすることができるよう、音楽を形づくっている要素を中心に、各教材を結び付けて構成されている。(3) 子ども達の思考を促すコラム、意欲を引き出す合奏教材や工夫するポイントが掲載され、友と関わり合い試行錯誤しながら改善していくなど、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。(4) 郷土の音楽を身近に感じられるような活動を取り入れるとともに、音楽づくりでは、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップがふまれ、個人差が軽減されるよう工夫されている。(5) 教材の背景や歌詞の内容に寄せたカラー写真が見開きで掲載されたり、楽器の写真や図が児童から見た向きで掲載されたりしており、音楽的感覚の育成や学習の一助となるよう配慮されている。(6) 巻末の振り返りのページを、音楽を形づくっている要素ごとのまとめりで示し、どのような観点で学習し、どのような知識・技能が身についたかが確認できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none">・ 郷土の音楽や身近な生活と音楽とのつながりをコラムや写真で示し、社会の中で音楽に親しむ態度を育む工夫がされている。・ 巻頭の「学びの地図」や活動のヒントとなる吹き出しにより、児童も教師も見通しをもって取り組めるよう工夫されている。